

## 通常日課開始にあたって

6月29日から、学校は通常日課が始まりました。

新型コロナウイルス対策のため、“いつも通り”ではありませんが、児童全員が登校してくるのは久しぶりで、うれしく思います。

「新しい生活様式」が子ども達に定着していくことが、第2波を避けるポイントと考え、今日は校内放送で以下のことを子ども達に話しました。

(校内放送での校長の話)

これはなんだかわかりますか。

そうです。政府が新型コロナウイルスが広がらないようにと全国民に配付したマスクです。よくテレビなどでは「アベノマスク」と呼んでいるものです。

これは、校長先生のものではありません。実は先週、地域の方が学校に来てくださり、ちょうど私が話をしたのですが、そのときにその方は「このマスクをこの学校の子ども達のために寄付したいのですが」とおっしゃっていました。私が「ありがたいお話ですがどうして江戸小に寄付してくださるのですか」とたずねたところ、「この学校は私が以前お世話になった学校なんです。私はこの江戸小にとっても愛着をもっています。だから今この学校に通っている子ども達が新型コロナウイルスにかかって困らないようにできることをしたいんです」と話されました。



江戸小が、これだけ地域の方に愛されているということに大変うれしく思いました。

みなさんは、この方からいただいたこのマスクをみて、どう考えましたか。

ぜひ、この方の気持ちを理解して、新型ウイルスにかからないようにしたいものですね。

では、かからないようにするにはどうしたらよいでしょうか。

それには、次の三つのことを守ることが大切です。

それは、「人との距離をとる」「マスクをつける」「手洗いをする」の3つです。

これらは、担任の先生から何度も教えていただいていると思います。

マスクについては、これから暑くなってくるので、登下校の時など、周りに人があまりいないときにはマスクを外すことも大切です。

この3つは、「新しい生活様式」といい、これからずっと続くことになります。

学校ではこの「新しい生活様式」に沿ってお勉強をしていきます。でも、学校以外では、どうでしょうか。新型ウイルスはどこに潜んでいるかわかりません。学校以外でかかってしまうことも考えられます。だから、この「新しい生活様式」は、学校だけでなくおうちやお出かけした先や他にもいろいろなところで意識していく必要があります。つまり、先生がいなくても「自分で考えてできる」ようにしていくことが大切です。ぜひよろしくお願ひします。

保護者の方や地域の方のこれまで学校に寄せていただいた御協力を深く感謝するとともに、これからも、子ども達を温かくそして時には厳しく見守ってくださいますようお願い致します。

流山市立江戸川台小学校 校長 上原 和浩